

戸籍の窓

6月受付分

戸籍の窓では、各支所市民課で掲載依頼をいただいた方のみ掲載しています。
(※敬称略)

誕生おめでとう

末吉

| 保護者 | 出生児 | 性別 | 住所 |
|-------|------|----|-----|
| 鶴田 徳光 | 桐結 真 | 男 | 川内東 |
| 岡元 国義 | 結 真 | 女 | 下市 |
| 中野 秀一 | 悠 菜 | 女 | 寺田西 |
| 坂元 裕紀 | 三 菜 | 男 | 西中野 |
| 寺園 弥紀 | 泰 良 | 男 | 寺中野 |
| 木村 武史 | 香 澄 | 女 | 種子田 |

大隅

| 保護者 | 出生児 | 性別 | 住所 |
|--------|-----|----|-----|
| 伊地知 祐太 | 美 望 | 女 | 立馬 |
| 大峰 卓也 | あ 結 | 女 | 天神丘 |
| 福村 教広 | 花 音 | 女 | 梶ヶ野 |

財部

| 保護者 | 出生児 | 性別 | 住所 |
|--------|------|----|------|
| 大内 加奈子 | あ かり | 女 | 馬立 |
| 磯崎 洋祐 | 太 智 | 男 | 天子馬場 |

おくやみ

末吉

| 氏名 | 年齢 | 住所 |
|-------|-----|-----|
| 八馬 茂雄 | 91歳 | 寺田上 |
| 有馬 郁哉 | 91歳 | 新高山 |
| 新地 貞夫 | 93歳 | 陣之山 |
| 幸田 秀夫 | 87歳 | 六町上 |
| 坂田 浩三 | 94歳 | 堂園 |
| 園田 裕子 | 58歳 | 三迫後 |
| 白坂 弘廣 | 62歳 | 三枝 |
| 佐多 利弘 | 85歳 | 櫛木上 |
| 東元 利信 | 81歳 | 櫛木東 |
| 徳元 利彦 | 85歳 | 鶴木 |
| 西元 利彦 | 75歳 | 新町 |
| 和元 忠二 | 64歳 | 内新園 |
| 山元 次夫 | 73歳 | 堂園 |
| 富留 久夫 | 82歳 | 榊下区 |
| 村留 彦久 | 74歳 | 友常 |
| 坂元 俊彦 | 74歳 | 坂下 |
| 高岡 亮子 | 86歳 | 中松 |
| 松尾 亮子 | 51歳 | 松高 |
| 八木 信子 | 87歳 | 寺上 |
| 大田 信雄 | 93歳 | 宮原 |
| 永田 信雄 | 87歳 | 富田 |
| 大田 信雄 | 84歳 | 富田 |
| 栗原 信雄 | 88歳 | 光神 |

大隅

| 氏名 | 年齢 | 住所 |
|--------|-----|------|
| 若松 マサ子 | 86歳 | 東桜ヶ丘 |
| 南 フヂエ | 90歳 | 別府 |
| 和田 秀美 | 76歳 | 東旭ヶ丘 |
| 奴久妻 美喜 | 92歳 | 東旭ヶ丘 |
| 伊地知 長俊 | 82歳 | 大川原 |
| 大村 シヅエ | 92歳 | あけぼの |
| 片平 一子 | 79歳 | 岩川本町 |
| 高橋 登 | 90歳 | 中大谷 |
| 奴久妻 ミツ | 87歳 | 段坂元 |
| 山下 八重子 | 87歳 | 東旭ヶ丘 |
| 北岩 論 | 81歳 | 久保崎 |

財部

| 氏名 | 年齢 | 住所 |
|---------|-----|------|
| 長迫 佐枝子 | 84歳 | 新田 |
| 松元 辰男 | 99歳 | 横馬場 |
| 徳永 徹 | 87歳 | 新正ヶ峯 |
| 新原 昭夫 | 85歳 | 新田 |
| 山元 陽子 | 81歳 | 中山 |
| 桐野 孝志 | 81歳 | 通山 |
| 狩集 クニエ | 96歳 | 通山 |
| 森田 昭治 | 84歳 | 湯南 |
| 坂口 昭毅 | 76歳 | 下大峯 |
| 神田橋 スミ子 | 73歳 | 桜馬場 |
| 伊集院 安子 | 81歳 | 古井東 |
| 今西 親雄 | 85歳 | 西村 |

※「住所」は行政区名・集落名を含みます。

「」寄付

曾於市思いやりふるさと寄付金

(ふるさと納税)

6月受付分 2662件
4414万2000円

この寄付制度は平成20年度に
始まり平成28年6月末時点で、
5万1499件

9億7298万9901円
となつています。寄付者の意向

に沿った事業に活用させていた
できます。

山中貞則顕彰記念事業寄付金

寄付の申し出はありませんでした。

この寄付金は、末吉町深川の故
山中貞則先生の自宅を購入し、
顕彰記念館として運営していく
経費に活用させていただいてい
ます。平成22年度に始まり、
平成28年6月末時点で
570件
2億9701万8827円

となつています。寄付金の目標
額は、5億円です。

一般寄付金

2件(内1件は5月分)

800万円

西段隆美様

(大隅町別府出

身)より寄付が

ありました。



編集後記

今回の表紙は「暑中お見舞い」をコンセプトに作成しました。いかがでしょうか？広報紙を作っていて、いつも思うことがあります。それは市民の皆さんあってこそこの広報紙だということです。今月号も多くの方に取材協力をいただきました。広報紙を読んでもののお便りもたくさんいただきました。本当にありがとうございます。暑い日がまだまだ続きますので「だれんごっつ」お過ごしください。(鶴巣)

大人になっても8月になると「夏休みの時期だ」とふと思ってしまいます。遊びたい！どこか行きたい！という欲求が出てきますよね。でも、休みの日になるとつい都城や霧島に出てしまう人が多い気がして、今回の特集は「曾於で夏を楽しむ！」をテーマに進めました。お盆などで帰ってくる人もたくさんいるこの時期、「相変わらず何にもない」ではなくて「実はこんなところが」とお伝えできればと思います！(三浦)